

第65期中間報告書

KONDOTEC REPORT

平成 28 年 4 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日



コンドートック株式会社

証券コード 7438

株主の皆様へ



株主の皆様には、平素より
 特別のご高配を賜り厚くお礼
 申し上げます。

さて、ここに第65期第2四
 半期(平成28年4月1日から
 平成28年9月30日まで)の
 営業の概況と決算につきまし
 てご報告申し上げます。

よろしくご高覧賜りますよう
 お願い申し上げます。

平成28年11月

代表取締役社長 近藤 勝彦

当第2四半期の連結経営成績

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経
 済は、所得や雇用環境は緩やかな改善が見られ
 るものの、個人消費は盛り上がり欠け、円高に
 よる企業業績の悪化を背景とした設備投資や輸
 出はいずれも伸び悩んでおり、先行きは不透明
 な状況が続いております。

当社グループ関連業界におきましては、公共
 投資は底堅い動きとなるものの、これまで高水
 準で推移してきた住宅投資は持ち直しが一服す
 るなど、建設需要は引き続き厳しい状況で推移し
 ております。

このような状況のもとで、当社は自社製品の
 拡販、新規販売先の開拓や休眠客の掘り起こし
 などの営業活動を展開するとともに、産業資材、
 鉄構資材、電設資材においてユーザーのニーズ
 を的確にとらえ、付加価値の高い製品の開発と
 商品調達機能をさらに強化し、連結子会社との
 事業拡大を図ってまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売
 上高は24,428百万円(前年同期比1.4%減)と
 減収になりました。

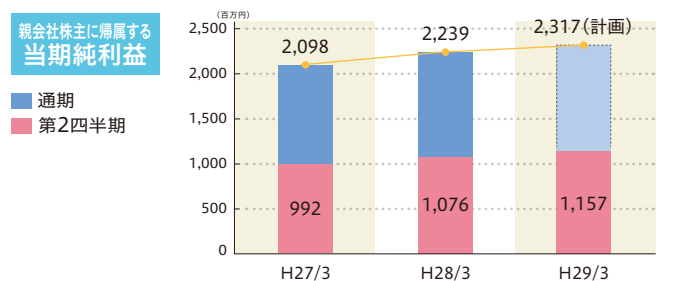
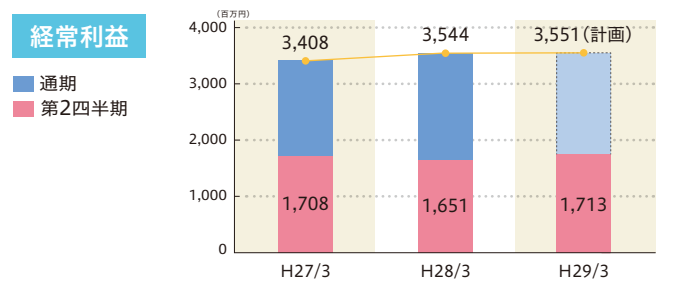
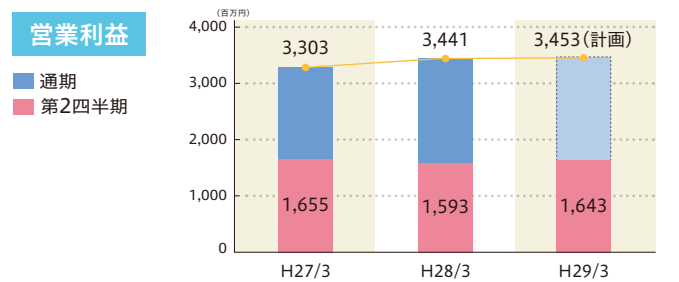
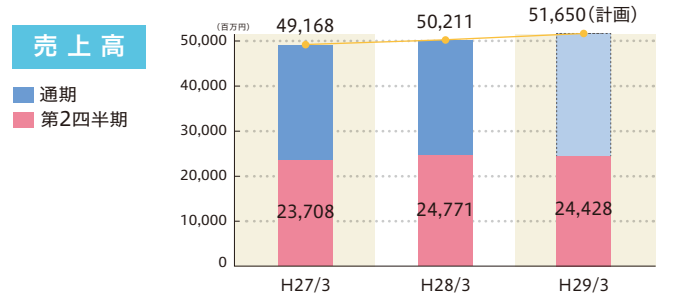
利益面につきましては、販売費及び一般管理
 費の増加はありましたが、製造原価や仕入原価
 の削減に取り組み、売上総利益率は前年同期の
 20.9%から1.3ポイント上昇し、営業利益は
 1,643百万円(同3.1%増)、経常利益は1,713
 百万円(同3.7%増)、親会社株主に帰属する四半
 期純利益は1,157百万円(同7.5%増)と増益に
 なりました。

売上高
244億28百万円
 (前年同期比 △1.4%)

営業利益
16億43百万円
 (前年同期比 +3.1%)

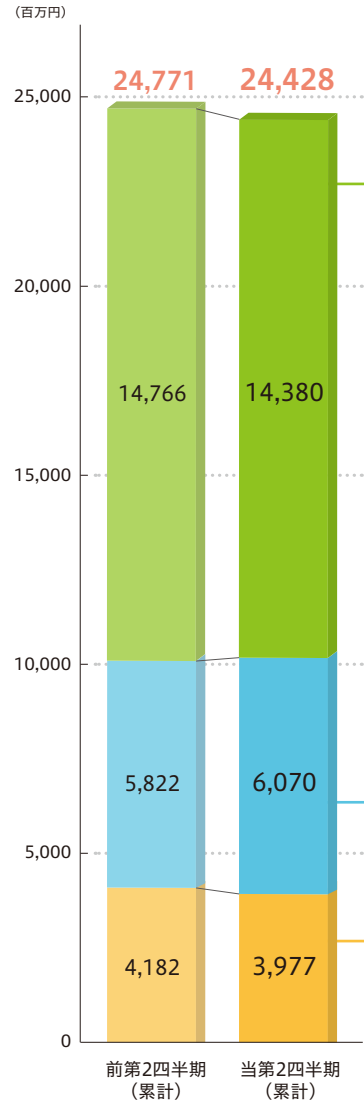
経常利益
17億13百万円
 (前年同期比 +3.7%)

親会社株主に帰属する
 四半期純利益
11億57百万円
 (前年同期比 +7.5%)



セグメント別業績

売上高



産業資材

143億80百万円(前年同期比 Δ 2.6%)



新設住宅着工戸数の増加により需要は底堅く推移し、公共投資も緩やかに動き始めましたが、除染工事の仮置場向け商材や太陽光発電の架台関連の需要の減少により、当セグメントの売上高は14,380百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

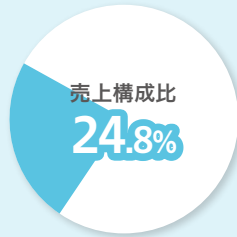
主な製品・商品

ターンバックル、シャックル、足場吊りチェーン、丸セパレーター、ワイヤロープ、コンテナバッグ 他



鉄構資材

60億70百万円(前年同期比 +4.2%)



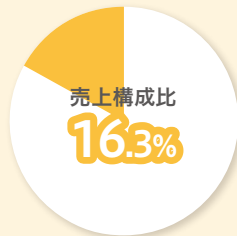
第1四半期に停滞感のあった鉄骨需要は、第2四半期に入り回復の兆しが見えはじめ、全体的な仕事量は安定して推移し、鉄骨加工業者の工場稼働率は上昇傾向にあるなかで、鉄構資材の商材の受注も比較的堅調で、当セグメントの売上高は6,070百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

プレース、アンカーボルト、ハイテンションボルト、ボルトナット類、鉄骨部材、施工工事 他



電設資材

39億77百万円(前年同期比 Δ 4.9%)



商業施設やマンションの改修・新築工事などは堅調に推移しましたが、太陽光発電設備関連の需要の減少があり、当セグメントの売上高は3,977百万円(前年同期比4.9%減)となりました。

照明器具、空調機器、換気扇、分電盤、電線ケーブル、配線器具、エコキュート、太陽光発電機器、家電機器 他



通期の見通し

平成29年3月期の連結業績予想

売上高
516億50百万円
(前期比 +2.9%)

営業利益
34億53百万円
(前期比 +0.3%)

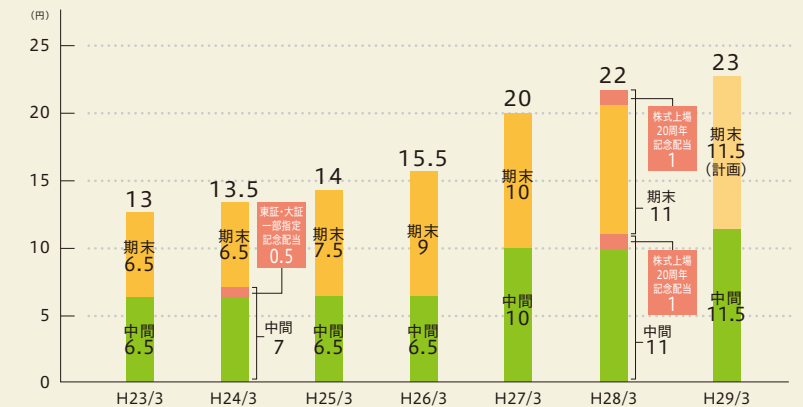
経常利益
35億51百万円
(前期比 +0.2%)

親会社株主に帰属する当期純利益
23億17百万円
(前期比 +3.5%)

配当金

当期配当(平成29年3月期)

中間配当 11.5円
期末配当予想 11.5円



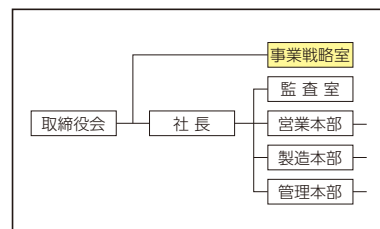
(注)当社は平成24年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、当該株式分割に伴う影響を加味し、遡及修正を行っております。

TOPICS 1 事業戦略室の新設

平成28年10月1日付で取締役会直轄の「事業戦略室」を新設いたしました。

この「事業戦略室」は、今後想定される2020年の東京オリンピック以降の国内建設市場の縮小や、さらには10年先の国内外の外部環境を展望し、現行の産業・鉄構・電設の3本の柱から、4本目、5本目の柱となる成長分野への事業展開を推し進める目的で、設置いたしました。

今後も当社グループは、持続的発展を実現するため、企業体質の強化を図ってまいります。



TOPICS 2 IRフェア 出展

平成28年8月26・27日に開催されました個人投資家向けIRイベント「日経IR・投資フェア2016」(場所:東京ビッグサイト)に出展いたしました。

当イベントは、“個人投資家と上場企業の出会いの場”として毎年開催され、当社は事業内容や成長戦略等の説明をいたしました。

今後も個人投資家の皆様に向けた積極的なIR活動を展開し、より一層の企業価値向上に努めてまいります。

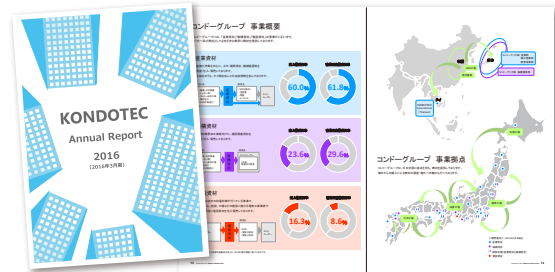


TOPICS 3 アニュアルレポートの発行

IR活動の充実を図るため、新たに「アニュアルレポート」(英語版・日本語版)を発行いたしました。

この「アニュアルレポート」には、財務ハイライトをはじめとして、「当社のあゆみ」、「中長期の事業戦略」、「事業別の概要」等を掲載しております。

なお、「アニュアルレポート」は当社ホームページにてご覧いただけます。

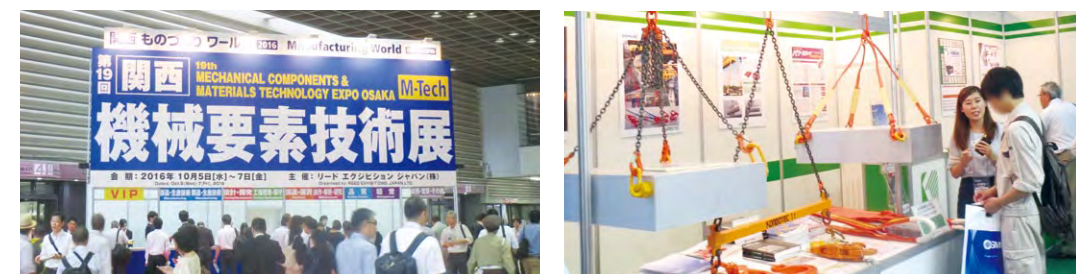


TOPICS 4 関西機械要素技術展 出展

平成28年10月5～7日に開催されました「第19回 関西機械要素技術展」(場所:インテックス大阪)に出展いたしました。

当イベントは、西日本最大のものづくりに関する専門展で、当社は機械や資材等の運搬に欠かせない「吊り具」などを展示し、ご来場の方々に説明いたしました。

今後も製・商品の情報発信に努めてまいります。



TOPICS 5 RADIEEX2016(環境放射能対策・廃棄物処理国際展) 出展

平成28年10月19～21日に開催されました「RADIEEX2016」(場所:東京科学技術館)に出展いたしました。

当イベントは、原発事故を受け、現在準備が進められている「中間貯蔵の本格化と廃炉に向けた環境放射能対策」をテーマとした展示会です。

当社は、劣化した大型土のうを吊り上げる繊維製の「ベルト」や、紫外線劣化を抑制した「耐候性大型土のう」などを展示し、ご来場の方々に説明いたしました。

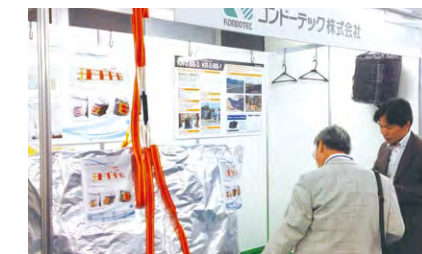
今後も環境対策分野への販売拡大を図ってまいります。



汚染土壌の貯蔵に使用された大型土のう

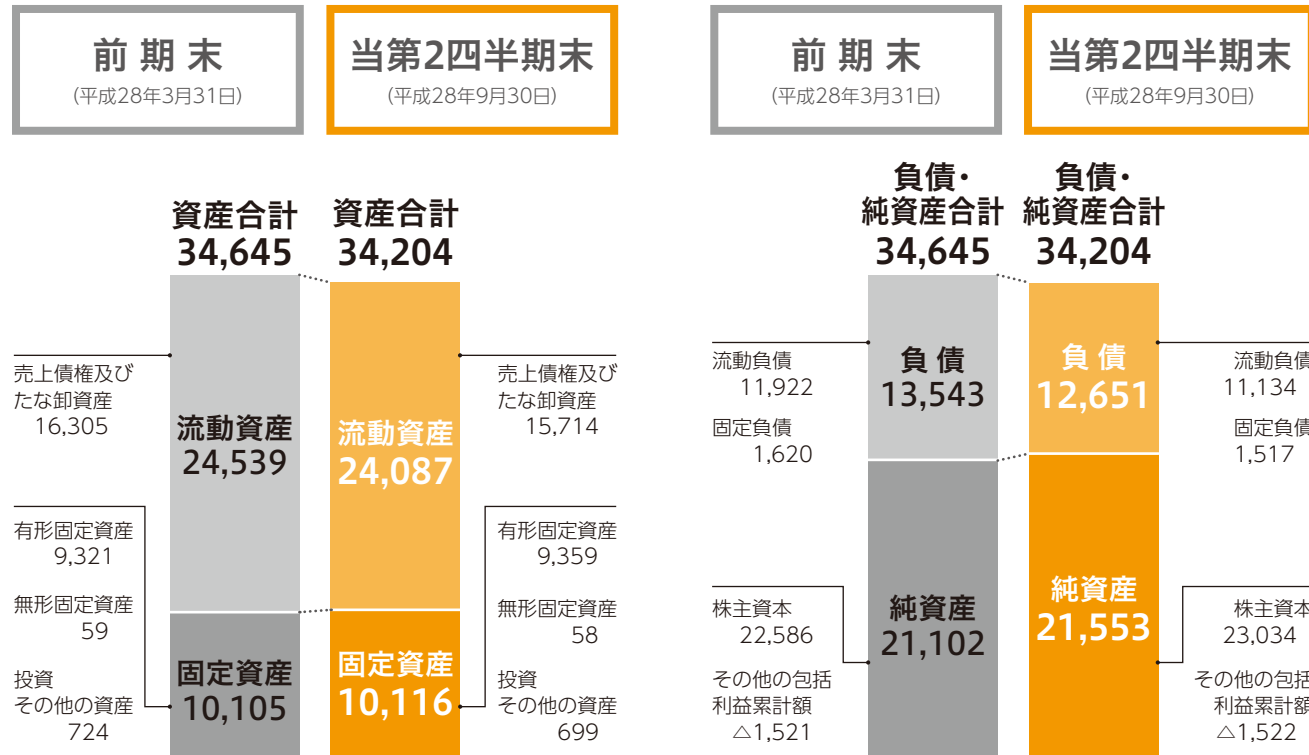


耐候性大型土のう



四半期連結貸借対照表の概要

(百万円)



流動資産

前期末と比較して、451百万円減少の24,087百万円となりました。

主な要因は、売上債権及びたな卸資産の減少によるものです。

固定資産

前期末と比較して、減価償却費207百万円あるものの、拠点展開の整備及び製造部門の生産設備の更新により、10百万円増加の10,116百万円となりました。

負債

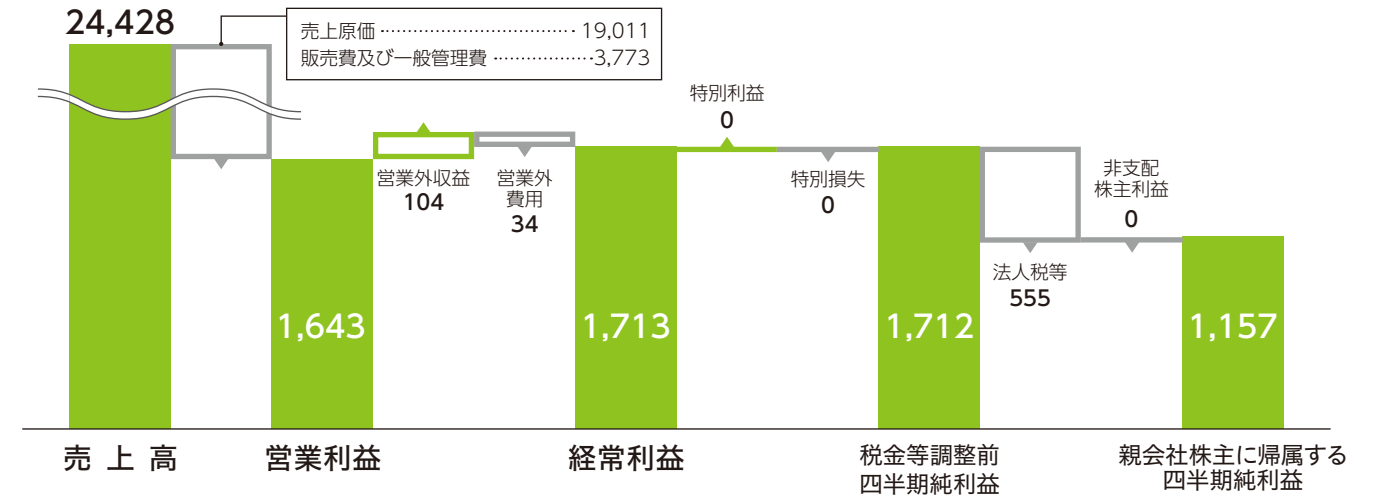
前期末と比較して、891百万円減少の12,651百万円となりました。主な要因は、仕入債務及び未払法人税等の減少等を主因として、流動負債が787百万円減少したことによるものです。

純資産

前期末と比較して、450百万円増加の21,553百万円となりました。主な要因は、剰余金の配当の支払い、自己株式の取得による減少等があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加等により、純資産は増加しました。

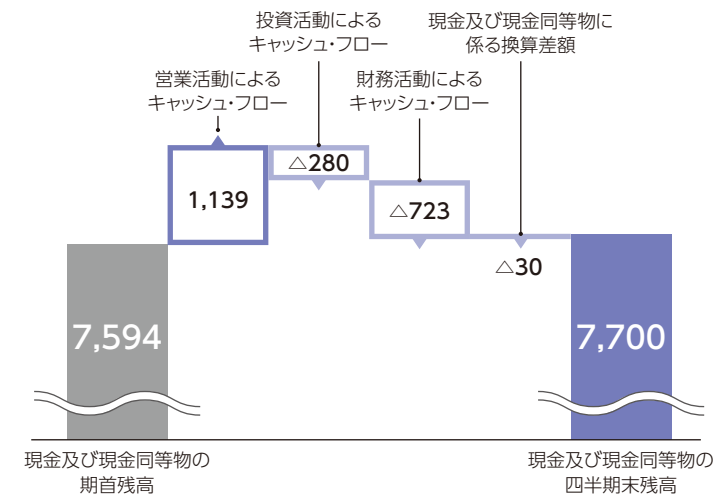
四半期連結損益計算書の概要

(百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(百万円)



営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益の計上1,712百万円、減価償却費の計上207百万円、売上債権の減少358百万円及びたな卸資産の減少231百万円等により資金を獲得した一方で、仕入債務の減少582百万円及び法人税等の支払い652百万円等に資金を使用したことにより、1,139百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得277百万円等に資金を使用したことにより、280百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

自己株式の取得418百万円及び配当金の支払い300百万円等に資金を使用したことにより、723百万円の支出となりました。

(平成28年9月30日現在)

会社概要

Table with 2 columns: Item (e.g., 社名, 本社, 東京本社) and Value (e.g., コンドーテック株式会社, 大阪市西区境川二丁目2番90号).

役員

Table with 3 columns: Role (e.g., 代表取締役社長), Name (e.g., 近藤 勝彦), and Photo Placeholder.

株式情報 STOCK INFORMATION

(平成28年9月30日現在)

株式の状況

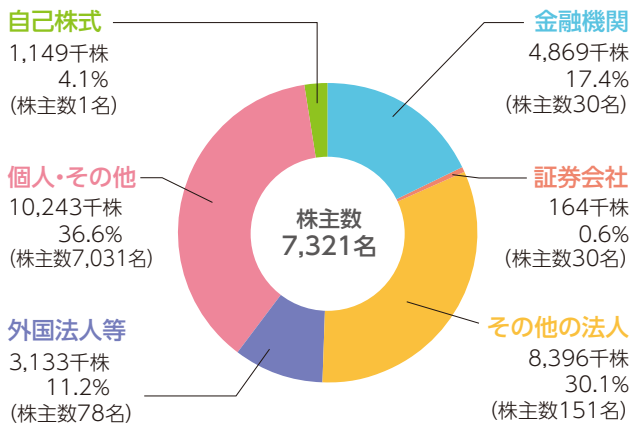
Table with 2 columns: Item (e.g., 発行可能株式総数) and Value (e.g., 60,000,000株).

大株主

Table with 3 columns: 株主名 (Shareholder Name), 持株数 (Number of Shares), 持株比率 (Percentage).

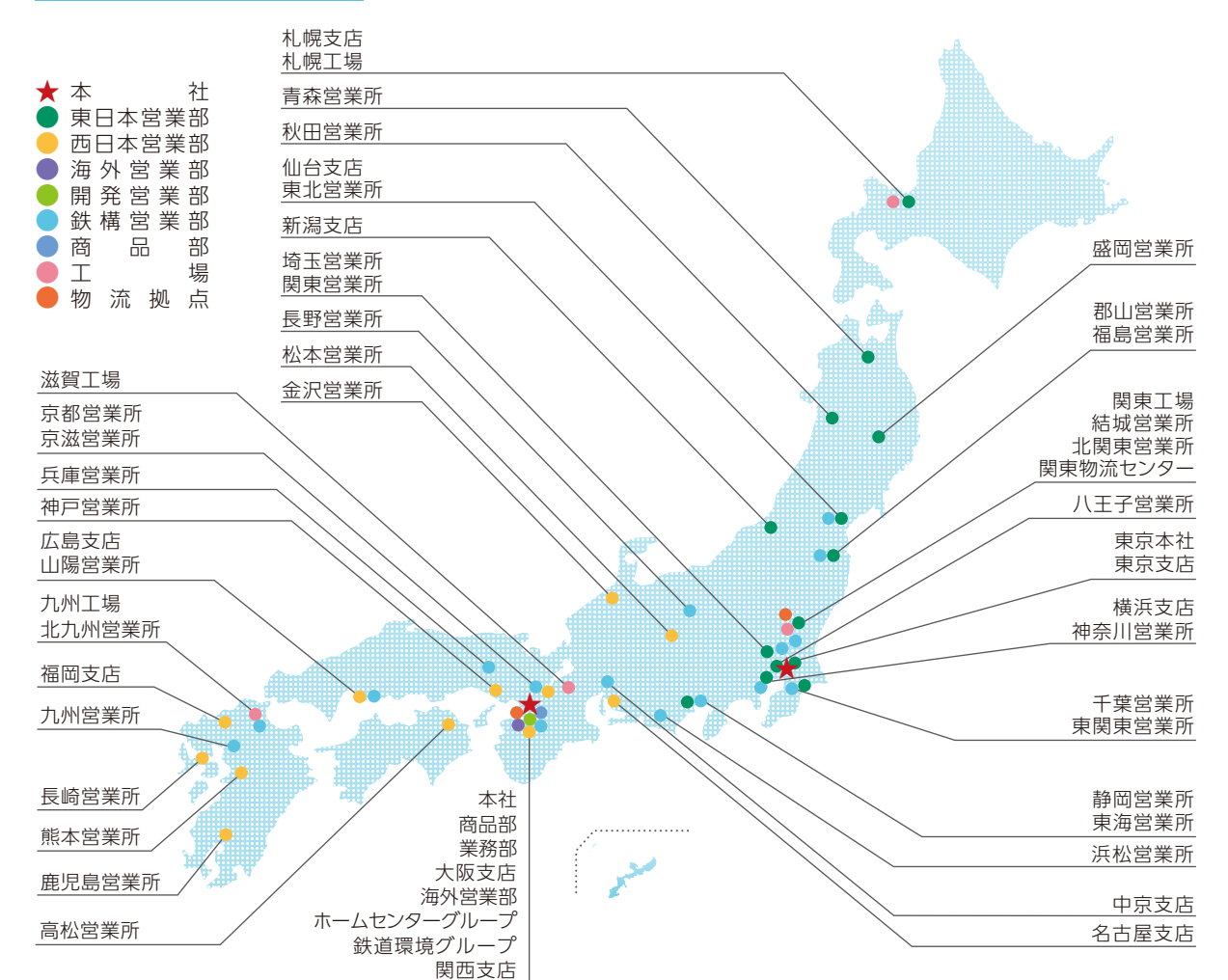
(注)自己株式1,149千株(ESOP信託口62千株を除く)は上記大株主には含めておりません。また、持株比率は自己株式を除いて算出しております。

所有者別株式分布状況



当社営業拠点・工場

(平成28年9月30日現在)



グループ会社 三和電材株式会社(本社 名古屋市西区)営業所14ヶ所 KONDOTEC INTERNATIONAL (THAILAND) Co., Ltd.(タイ・バンコク市) 中央技研株式会社(滋賀県犬上郡)

コンドーテックホームページのご案内

個人投資家の皆様に当社をご理解いただくため、当社の事業内容や強みをご紹介します
「なるほど!!コンドーテック」をはじめ、会社説明会動画、決算ハイライト、開示資料、CSR、
取扱製品・商品などさまざまなコンテンツをご用意しております。ぜひご覧ください。

インターネットホームページ

<http://www.kondotec.co.jp>

コンドーテック

検索

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当金 毎年3月31日
中間配当金 毎年9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

[株式に関する住所変更等のお届出及びご照会]

証券会社でお取引をされている株主様

- 郵便物送付先・電話お問い合わせ先
お取引のある証券会社になります。
- ※未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行株式会社本店及び全国各支店でお支払いいたします。

特別口座に記録されている株主様

- 郵便物送付先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
- 電話お問い合わせ先 ☎ 0120-094-777 (通話料無料)
- お取扱店 三菱UFJ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店



コンドーテック株式会社

〒550-0024 大阪市西区境川二丁目2番90号
TEL 06-6582-8441(代)

平成28年11月発行 当報告書には財政状態及び経営成績に関する将来予測の記述が含まれております。
この前提及び将来予測の記述には、経営を取り巻く環境の変化などによる一定のリスクと不確実性が含まれております。



環境に配慮した植物油インキを
使用しています。

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを
採用しています。



コンドーテックは低炭素社会実現
のための国民的プロジェクト「Fun
to Share」に加盟し、環境問題に取り
組んでおります。